

誰もが

「資本家」 になれる時代へ

お金に
働いてもらう
考え方を
身につけよう！

二刀流で生きるマネープラン

働いて稼ぐ

×

資産収入

の



誰もが 「資本家」に なれる時代へ

1日でも
早いスタートが
未来の
大きな力に！

働いて稼ぐ



資産収入

二刀流で生きるマネープラン

「資本家」と聞くと、どこか遠い存在のように思いませんか？
でも、実はそんなことはありません。新NISAをきっかけに、
その数は一段と増えてきているんです。

「お給料」と「資産収入」の二刀流で、
令和というインフレ時代に立ち向かう「資本家」たち。

この本では、より身近になりつつある
「資本家」たちの実態や、
『「仕事」と「投資」二刀流での資産形成術』
の考え方ををご紹介します！

▶ この本でわかること

- 1章 「資本家」の3つのポイント…………… 03
- 2章 「資本家」になりたい3つのワケ…………… 05
- 3章 「日本の家計」が今ピンチ！？なぜ？…………… 07
- 4章 実際に聞いてみた「資本家になってよかった？」…………… 09
- 5章 「仕事」と「投資」の二刀流で「資産」を
育てる仕組みを確認！…………… 11
- 6章 資本家が語る体験談！インタビューコーナー…………… 13



投資で
増やす！

仕事で
稼ぐ！

運用による利益

退職金

投資した金額

定年退職

年金収入

給与収入

20代

30代

40代

50代

60代

70代～

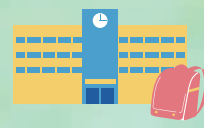
ライフ
イベント



結婚



子育て



子供の進学



住宅購入



海外旅行



リフォーム



医療費



贈与



シニア向け住宅

1 章

例えば100円や
1,000円でも、
お金の「有効活用」を
始めたら、
それが「資本家」への第一歩。



POINT 02

「資本」って なんだろう？

「資本」と聞くと難しそうですが、ここではお金の「活用先」と考えてみてください。例えば株式や債券、マンションなどの不動産や、金なども「資本」と言えます。プロが選んで組み合わせてくれる「投資信託」という商品もあります。今は100円からでもスタートできる商品があるんですよ。



CHECK

100円でも「資本」を保有すれば、あなたも「資本家」の一員に！

知って
おきたい！

「資本家」の3つのポイント

POINT 01 「資本家」って どういう人たち？

私たちは通常、自分が働くことでお給料をもらっています。受け取ったお給料の一部を「資本」として活用し、お金にも働いてもらう仕組みを作っているのが「資本家」です。



CHECK

自分と一緒に「お金」にも働いてもらうと心強い！

ダブルインカム・二刀流で、暮らしと将来にゆとりを！



POINT 03 「資本家」になると いいことがあるの？

「自分」と「お金」のダブルインカム＝二刀流で資産形成ができるのが「資本家」になる一番の強み。ゆとりのある今を過ごすことと、安心できる未来を目指すこと、両方を支えてくれる力強い仕組みです。

CHECK

「資本」を味方につけて、
今と未来を豊かにしていこう！

「資本家」になりたい3つのワケ

「資本家」になることで
目指せる、
豊かな今と未来。
その理由をここでは
3つご紹介します！



POINT 01 「資本」に支えてもらおうと効率が良い？

かつて産業革命の時代には、工場などで働く人たち(労働者)と、その工場に投資する人たち(資本家)との間に大きな格差が生まれました。でも、今の私たちには、その時代の人たちよりもっと身近に「投資」という選択肢があります。誰でも「資本」を活用し、「資本家」になることができるんです。

ピケティの法則とは？

- フランスの経済学者トマ・ピケティによる 2013 年の著書、『21 世紀の資本』では、「歴史的に見て、**資本収益率 r** は **経済成長率 g** を上回る傾向にある」と提唱しています。
- 働くことによって所得を得るだけでなく、「資本収益」、つまり投資による収益もあわせて準備することで、将来に向けた資産形成の大きな後押しになる効果が期待されます。



>



※ Thomas Piketty, Capital in the Twenty-First Centuryより

POINT 02 「仕組み」の力で、資産の伸びしろが作れる！

「複利」の力は強力な味方。元の資金に利益をあわせて再投資すると、次の利益はその合計額をもとに生み出されます。利益がさらに利益を生む雪だるま式の「仕組み」は、「資本家」にとって大きな味方！



CHECK

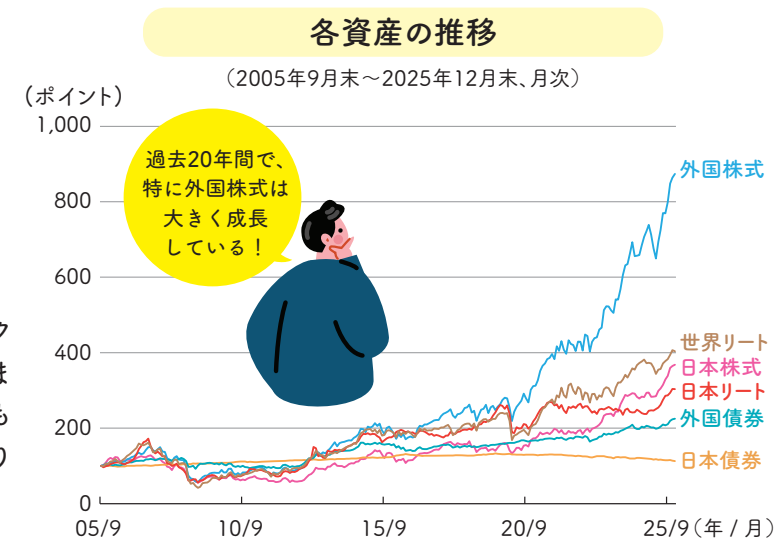
少額からでも、早めに仕組みを作っておくと◎！

POINT 03 経済の推進力として育ってきた「資本」

株や債券、不動産などの資本は、様々なショックにさらされ変動しながらも、大きく成長してきました。その成長にこれからも引っ張っていかけてもらうことが、「資本家」にとっての大きな力になりそうです。

CHECK

選択肢は色々！自分に合いそうな「資本」を見つけよう



(注) 日本株式はTOPIX、外国株式はMSCIコクサイインデックス、日本債券はNOMURA-BPI総合指数、外国債券はFTSE世界国債インデックス(除く日本)、日本リートは東証REIT指数、世界リートはS&PグローバルREIT指数。いずれも配当込み、円ベース。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

「日本の家計」が今ピンチ!?なぜ?

例えばいつものスーパーで、カフェで、ホームセンターで。「あれ?こんなに高かったっけ?」今、私たちの家計が抱える問題は、なかなか深刻そうです。

預金は「安全」だけど、「安心」ではないかも

長く続いた低金利時代をようやく抜けて、預金金利は少しずつ上がってきました。しかし加速する物価上昇には、まだまだ追いつけていないのが現状です。

また、一部ではベースアップなどの報道が出ているお給料も、一時期よりは上がってきているものの、生活への不安の声は減っていません。まだまだ物の値段を見てため息をついている人が多いそうです。



定期預金金利と消費者物価指数の推移



(注1) データは1990年1月～2025年12月、月次。
(注2) 定期預金金利は1年以上2年未満。預入金額1千万円以上。
(出所) 日本銀行および総務省のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

物価の変化

主に国内要因の影響を受けるもの

商品名	2020年12月	2025年12月	上昇率
牛乳(店頭/1,000ml)	216円	263円	+22%
鶏卵(10個入り1パック)	222円	316円	+42%

主に外貨の影響を受けるもの

商品名	2020年12月	2025年12月	上昇率
牛肉(輸入/100g)	267円	363円	+36%
コーヒー豆	127円	335円	+164%

(出所) 総務省「小売物価統計調査」のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

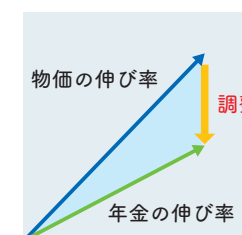
じわじわと上がっていく物の値段にヒヤヒヤ…

2020年から2025年の5年間で値上がり幅が大きかったものの一部をチェック。牛乳がプラス22%、物価の優等生と言われた卵ですらプラス42%! さらに注目なのは、為替の影響も受ける輸入品。驚くべきはコーヒー豆で、なんとプラス164%! 毎朝淹れているコーヒーは、なんと5年前の2.5倍以上に…。

「年金があれば将来は安心じゃないの?」



いずれ受け取れるはずの年金にも仕組み上の問題があります。“マクロ経済スライド”という制度があって、賃金や物価、平均余命などをふまえ、年金額が調整される仕組みです。つまり、物価が上がっても、年金は同じペースでは増えない。年金だけに頼るのも、実は難しい時代なんです。



収入は増えにくいのに…



金利は心もとない
まだまだ物足りない
預金金利

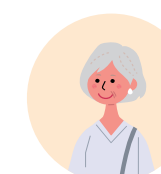


年金だけでは物足りない
少子高齢化の影響で、
金額が減る+もらえる
年齢が遅くなるかも…

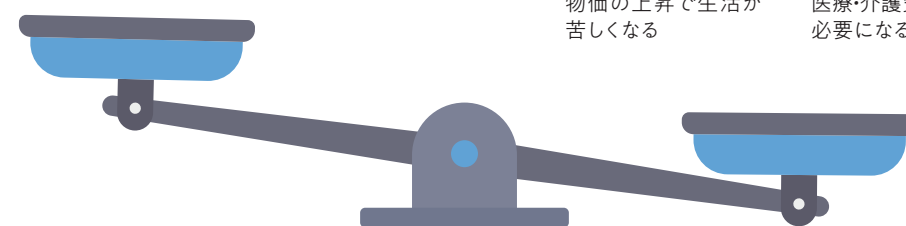
負担は重くなりそう



物価は上がる
お給料は上がっても、
物価の上昇で生活が
苦しくなる



日本人は長生き
平均寿命は約80~85歳!
医療・介護費が20年以上
必要になるケースも



このままだと、
将来はお金の不安が
もっと大きくなりそう…



だからこそ、
今「資本家」が
増え始めています!

「資本家」たちの現状をチェック!

4章

実際に聞いてみた「資本家になってよかった？」

「資本家」は増えてきている？「資本家」になったことで、本当に結果が出ているの？みんなの動向をチェック！

CHECK

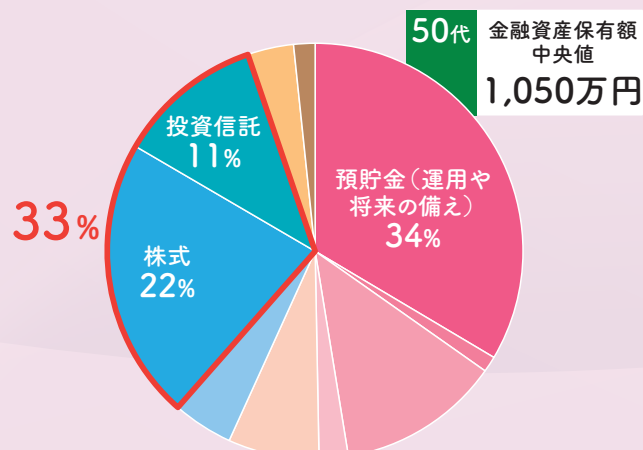
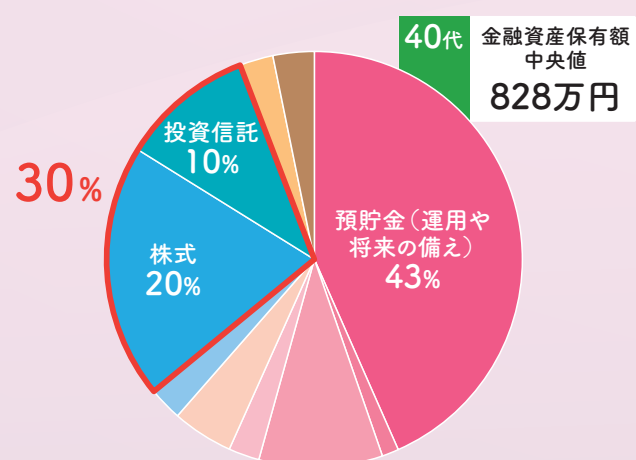
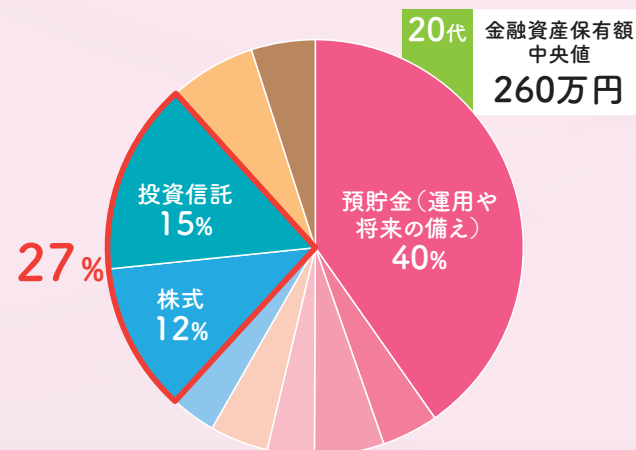
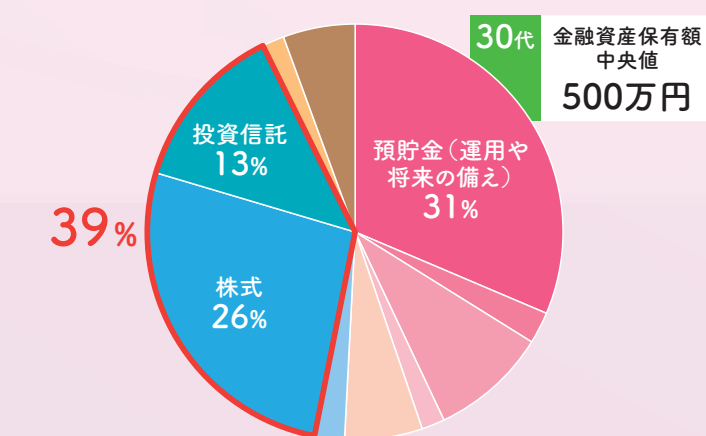
01 現役世代の人たちの投資割合は？

投資をスタートしている「資本家」とそれ以外の人で本当に差がついてしまっているのか、気になりますよね。

日本の現役世代、年代別の金融資産保有額の中央値をみると、上の世代になるほどきちんと増えていっています。ただあくまで中央値なので、同じ世代の中でも大きな差があることもわかっています。

投資金額の割合はどの年代も3割~4割程度ですが、この「資本」はきちんと結果を出せているのでしょうか？

現役世代の保有金融商品割合と金融資産保有額中央値（年代別）



預貯金（運用や将来の備え） 金銭信託 生命保険
損害保険 個人年金保険 債券 株式
投資信託 財形貯蓄 その他金融商品

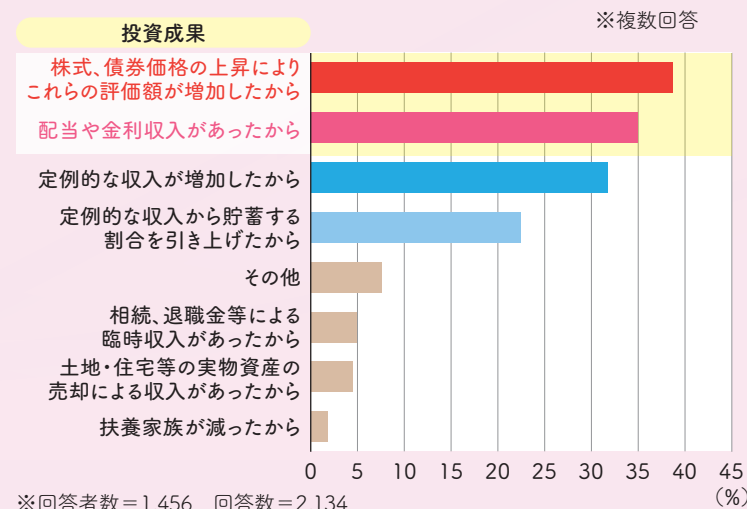
※回答者数=2,360 年代ごとの保有金融資産額、種類別金融商品保有額平均より算出

CHECK

02 本当に「資本家になってよかった」？

「1年前と比較して金融資産が増えた理由」のアンケートでは、1位が「株式・債券価格の上昇で評価額が増加したから」、2位が「配当や金利収入があったから」でした。資産が増えた人の中には、投資の恩恵を受けた人も多いと考えられますね。このアンケートを見ると、「資本家」たちはきちんと結果を出せているようです。

1年前と比較して金融資産残高が増加した理由



CHECK

03 「行動の差」が「結果の差」かも

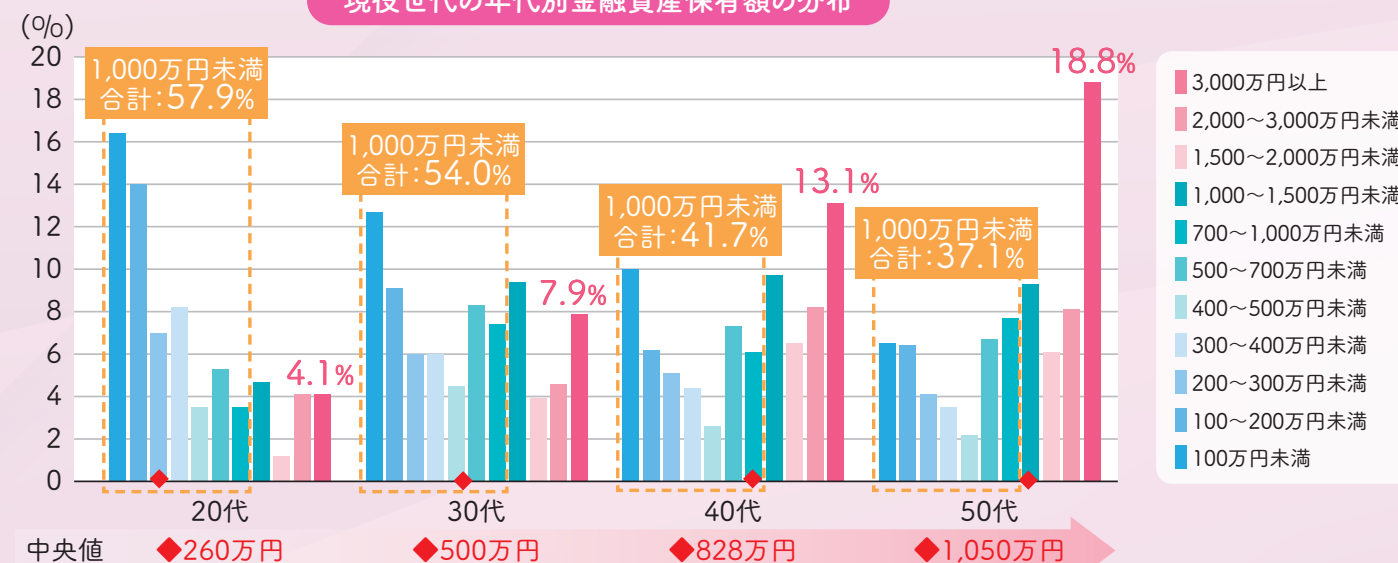
世代別で保有している金融資産額の分布を見ると、同じ世代の中でも大きな差がありますね。

20代では1,000万円未満が約58%ですが、ここはキャリアの初期段階なのでまだまだこれから。

注目すべきは50代です。3,000万円以上持っている人が約19%いる一方で、1,000万円未満の人も約37%。同じ50代なのに、これだけの差が開いているんです。

理由は色々あると思いますが、「投資の結果資産が増えた人が多かった」というアンケート結果を見ると、「資本家」かそうでないかも理由の一つかもしれませんね。

現役世代の年代別金融資産保有額の分布

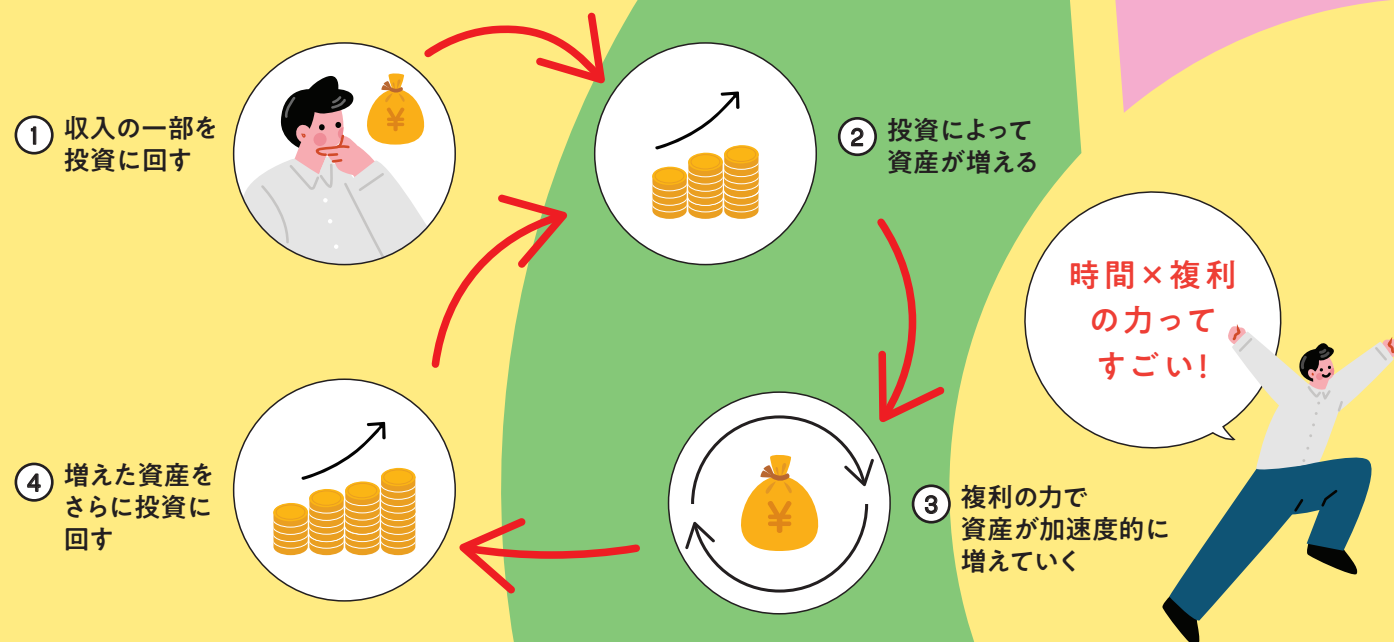


※回答者数=2,895

「仕事」と「投資」の二刀流で「資産」を育てる仕組みを確認！



循環する仕組みで資産を育てよう！



目標：老後資金 **2,000万円** をつくる

30歳から年利5%で毎月積立投資をした場合

必要な 期間の目安	月1万円	月3万円	月5万円
	約45年	約27年	約20年

毎月1万円投資 (年利5%) → 約**45年** → 2,000万円到達!
75歳

毎月3万円投資 (年利5%) → 約**27年** → 2,000万円到達!
57歳

毎月5万円投資 (年利5%) → 約**20年** → 2,000万円到達!
50歳

30歳
スタート



CHECK

早めにスタートすれば退職前に到達できるケースも。無理のない範囲でまずはスタートしよう！

目標：老後資金 **4,000万円** をつくる

30歳から年利5%で毎月積立投資をした場合

必要な 期間の目安	月1万円	月3万円	月5万円
	約58年	約38年	約30年

毎月1万円投資 (年利5%) → 約**58年** → 4,000万円到達!
88歳

毎月3万円投資 (年利5%) → 約**38年** → 4,000万円到達!
68歳

毎月5万円投資 (年利5%) → 約**30年** → 4,000万円到達!
60歳

30歳
スタート



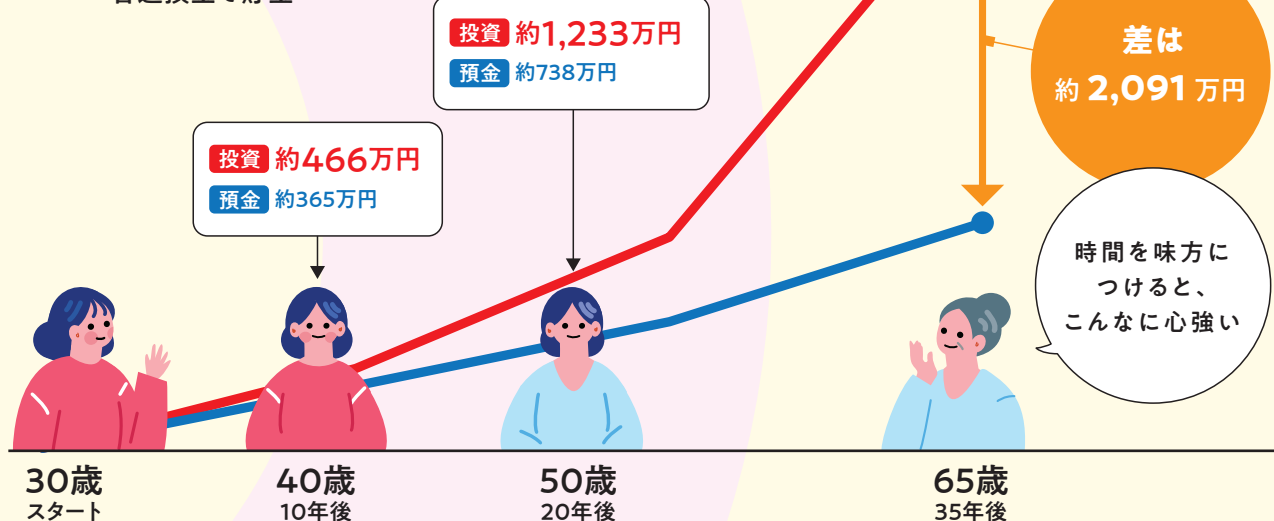
CHECK

4,000万円も、時間を味方につければ十分射程内。早く始めることで、将来の安心感が大きく変わります！

将来を
シミュレーションしてみよう！

— 毎月3万円を投資 (年利5%で運用)

— 普通預金で貯金



たとえ少額でも、早く始めることで将来の差は大きくなる！

※普通預金金利は、日本銀行のデータを基に作成。年利率は2026年6月時点の普通預金平均年利率等を基に、表示上、年0.25%としています。

POINT

30歳・40歳・50歳のどの時点でスタートしても、コツコツ続ければ目標に着実に近づく！
早く始めるほど、時間が大きな味方になります。



「資本家」が語る 体験談！

インタビュー
コーナー

「資本家」になったきっかけは人それぞれ。本音ベースのインタビューをご紹介します！身近に感じられる人がいるかもしれません。

20代男性

投資期間

1年以上～3年未満

投資目的

インフレ(物価上昇)に
備えるため

投資手法

積み立て

好きな格言

遠くのもの避けよ

理解できない
投資先には注意

Q. 投資を始めたきっかけは？

A. 新NISAをきっかけに、投資を始めた友人がいたからです。でも全く知識がなかったので、最初はどの商品を選べばいいの全然わかりませんでした。なのでいろいろ調べて、金融機関でお勧めされていたファンドをそのまま積み立てるところから始めてみました。今ようやく2年目です。

Q. 1年間継続してみた感想は？

A. ものすごく相場が下がったタイミングがあって、あの時はどうしようかと思いました。でも色々調べると「下がったところでも買い続けられるのが積み立ての強み」「一喜一憂しないことが大切」と言われていたので、怖いのをぐっと我慢してそのまま投資をやめずに継続しました。結果として、そのあと相場も回復して保有しているファンドの価格も上がったので、積み立てのメリットを身をもって実感できてよかったと思います。

Q. これからも投資を続けたいですか？

A. 無理のない範囲の金額で積み立てているので、このまま継続の予定です。最近物価の上がり方がすごくて、貯金しておくだけじゃおちおち安心して買い物も旅行もできないな…と思っていました。年金が減るかもしれないという噂も聞くので、将来に向けて今から少しでも資産を作っていければと思っています。

40代男性

投資期間

1年以上～3年未満

投資目的

老後の生活資金のため

投資手法

積み立て

好きな名言

株式市場は、
せっかちな人から
忍耐強い人へお金を移す
仕組みだ。
(ウォーレン・バフェット)

辛抱強さが
大切!

Q. いつ頃から投資を始めましたか？

A. つい最近です。新NISAが始まって身近なところでも話題に出るようになったので、気になって調べるうちに「少しは投資をした方がいいのかも」と思うようになりました。

Q. どのようにして投資商品を選びましたか？

A. WebサイトやYouTubeで基本を調べるところから始めました。初心者向けの資料や、動画やSNSで実際に投資している人たちの発信を見てみたりとか。初心者にはインデックスファンドの積み立てを勧める声が多かったので、そこからスタートしました。ひとまず1年継続出来て、結果も出ていてほっとしています。

Q. 不安なことはありましたか？

A. 上下変動よりも、「40代から始めて意味があるのか？」ということが不安でした。毎月5万円積み立てても1年で60万円にしかないしな…と。でも考えてみたら、退職までの15年間積み立て続けたら900万円になりますし、それに運用益がプラスになれば老後の資産としてかなり安心できる金額になるのでは、と思い直しました。

Q. このまま退職まで積み立てを継続される予定ですか？

A. はい、仕事が忙しいので自動積立が楽ですね。ただ最近「配当生活」とか「優待」とかもちょっと気になっています。株主優待は色々もらえて楽しそうですね。

30代女性

投資期間

3年以上～5年未満

投資目的

生活にゆとりを
持つため

投資手法

積み立て

好きな格言

卵は一つのカゴに盛るな

リスク分散を
心がけよう

Q. いつ頃から投資を始めましたか？

A. 3～4年前です。もともと夫が積立投資をしていて、私が育休明けで仕事に復帰することになった時に「何かやってみたら？」と勧められました。

Q. どんな商品に投資をしていますか？

A. 私は知識がなくて、損をしてしまうかもしれないことへの恐怖が強かったんです。金額が小さくても、激しく変動するようなものは怖くてメンタルが保たなそうだなと思って。なので、夫と相談して分散投資されている「バランスファンド」を積み立てることにしました。株みたいにもものすごく上がらなくても、安心して持てるものがないと、と。今まで相場が大きく動いた時も株に比べると動きが小さくて、あまり怖がらずに済みました。

Q. 投資をしてよかったですか？

A. そうですね。子育てと仕事で忙しくてたまに送られてくる報告書を見るくらいですが、貯金だけよりはずっとよかったなと思っています。贅沢ができる、ということではありませんが、お給料以外で資産が少しでも増えていく期待が持てるのは、結構ありがたいものなんだなと思いました。私はこれくらいがちょうどいいです。年金もきっと自分たちの世代が受け取る頃にはもっと少なくなってしまうと思うんです。安心して未来のことを考えられるように、まず一つ行動を始めることができてよかったと思っています。

50代男性

投資期間

20年以上

投資目的

老後の生活資金のため

投資手法

積み立て+タイミング投資

好きな格言

慌てず焦らず
慎重に

売り買いは三日待て

Q. いつ頃から投資を始めましたか？

A. 30代からです。既に年金や退職金はこれから減っていくだろうと言われていたので、事前準備のつもりで始めました。当時は雑誌とか、金融機関のサイトや投資家のブログで情報を集めていましたね。旧NISAも使いました。

Q. 長く投資をされていると、怖い思いをされたこともあったのでは？

A. 何度もありましたよ。大きなショックがあったときは「やっぱりやめればよかったかな」と思ってしまった。でも当時から積立投資をしていたので、難しく考えず機械的に積立を継続しました。大きな下落と回復を何度か経験したことで、今では相場が動いてもほとんど動揺しなくなりました。「継続は力なり」ですね。

Q. 今はどんな商品を保有されているんですか？

A. 新NISAでインデックスとアクティブの投資信託を何本かと、個別株で配当利回りが高い銘柄や期待できそうな銘柄を自分なりに選んで保有しています。

Q. 銘柄はどのようにして選んでいるんですか？

A. 自分で情報収集したり、たまに金融機関のオンラインでの相談サービスも使わせてもらっています。

Q. 投資はまだ継続する予定ですか？

A. 勿論です。配当金・分配金という形で給料以外に収入があるのは頼もしいですし、年金生活に入ればますます心強いと思います。退職後に備えて資産は育て続けるつもりです。

できる範囲から「資本家」への一歩を踏み出そう！

<重要な注意事項>

【投資信託商品についてのご注意(リスク、費用)】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等(外貨建資産には為替変動もあります。)の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆直接ご負担いただく費用

購入時手数料	上限3.85%(税込)
換金(解約)手数料	上限1.10%(税込)
信託財産留保額	上限0.50%

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	上限 年2.255%(税込)
------	-----------------------

◆その他費用

監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友DSアセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等を必ず事前にご覧ください。

投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

(2026年3月31日現在)

- ◆当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ◆当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- ◆当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ◆当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- ◆当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ◆当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ◆当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日:2026年6月末



三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会